

RCA 便り

2020年10月号
発行：広報委員会
RCA事務局：812-8307



INDEX	
理事長挨拶	⇒ 1 頁
コンクール応募	⇒ 2 頁
花と緑の会スタート	⇒ 3 頁
イベント情報	⇒ 4 頁

☆☆☆ コロナ禍における RCA 活動について ☆☆☆

緑園都市コミュニティ協会
理事長 見瀬賢悟

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素より RCA 活動に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスに関して、現在政府による緊急事態宣言は解除されたものの、終息までの期間が長期にわたることが予想されることから、RCA の活動も、感染拡大防止対策を十分に行いつつ進めていくことが求められております。そのため、一部の活動が縮小又は延期や取り止めとなったり、実行するにあたっては三密を避け、マスクの着用や手洗い・消毒の徹底など、皆様にお気遣いをお願いしており、RCA としても大変心苦しく感じております。

次に、現在 RCA が進めている 3 大プロジェクトの進捗についてご報告いたします。

第 1 の RCA の NPO 法人化については、先の総代会でご説明しました NPO 法人化に内在する大きな問題点に関して専門家の意見も踏まえ、経験者との協議を深めた上で、その解決に一応の目途をつけて、今後、法人化に向けて具体的な手続きの準備を進めて参る所存です。

第 2 の緑園都市駅前の活性化については、郵便局前歩道改善に一応の決着を目指すとともに、駅周辺の食関連の店舗に対する利用者からの要望と店舗側の希望や展望とのマッチングを図るため、関連企画も含めた検討を進めております。このような時節柄ではありますが、今後、皆様の店舗の利用を含め緑園の活性化につなげることを考えております。

第 3 の緑園西小学校の後利用については、今後、関係者間での協議を深め、過去の閉校小学校の活用事例を参考に、特に用途地域等の制限を考慮しつつ具体的な提案に結び付けていけるよう検討を進めて参る所存です。

私は、緑園における現状のコロナ禍対応とのバランスを図りつつ、今後の RCA の活動を積極的に進めて参りたいと考えております。皆様のご参画を期待するとともに、引き続き、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

以上

☆☆☆ 住まいのまちなみコンクールに応募 ☆☆☆

RCAは2020年度「住まいのまちなみコンクール」に初めて応募しました。応募対象は「良好な景観が形成されている一体的な住宅地において、概ね10年以上にわたって住民主体で適切な住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体」ということであり、以下が審査のポイントという事です。なお、入選発表は2021年1月とのことでした。

1. 美しくアメニティの高い住まいのまちなみ景観が形成されていること
2. 多人数によるまちなみの維持管理活動が行われていること、建築協定などまちなみのルールが合意されていることが望ましい
3. 維持管理活動ができるだけ長期間に亘って継続的に行われていること
4. 住民組織の景観維持活動が初期の景観を育て、より成熟させる方向での成果となっていること
5. 街の再生に向かって努力していること
6. まちの課題に対する取組みが、他地域で同様の課題に取り組んでいる団体のモデルになりえること

緑園地区は区画整理事業を経て33年以上前にできた住宅地で、相鉄G、三井不動産G等を中心に開発されました。米国ラドバーンをモデルに設計され、アンテナや電柱少なく、景観を重視した緑豊かな住宅です。RCAは開発終了後、街づくりを担う組織として開発者から住民に引き継がれた組織です。その街並みを維持するために、設計コンセプトをまちづくりのガイドラインである「緑園のまちづくり」として制定し、緑化活動や地域交流事業等の地域に密着した各種活動とともに、街並みの保全に注力してきました。このガイドラインの維持のために横浜市都市整備局地域まちづくり課等とも連携し継続的に活動しています。今回の応募をきっかけに、RCAの地道な活動であまりPRしてこなかった街並み維持の活動を再確認できました。

住まいのまちなみコンクールとは

人口減少社会の中、まちの価値の落ちない、選ばれる地域づくりが求められています。「住まいのまちなみ」は、地域の方々が積極的に維持管理、運営することで、豊かな暮らしの場へと育まれていきます。また、高齢化や防災・防犯、低炭素化などの社会的課題に対応しながら、多世代がともにまちの価値を守り育て、住み継ぐことができるまちとしていくことが大切です。このためには、地域の管理や交流活動のほか、空家の利活用等による地域の活性化、新たな入居者の受け入れを含むコミュニティの形成など、多様な取り組みが必要となります。

このコンクールは、地域の特性を活かし、魅力的な住まいのまちなみを育む維持管理、運営などの活動に実績を上げている住民組織をまちづくりのモデルとして**住宅生産振興財団**が表彰し支援するものです。(後援：国土交通省、都市再生機構、日本建築士会連合会他)

☆☆☆ 「緑園花と緑の会」の活動がスタート ☆☆☆

～RCAは美しい街並みの維持の活動を推進しています～

(1) 推進事業の現状と狙い

緑園地区は開発以来33年が経過し、泉区の中でも街全体の高齢化が急速に進んでいます。人口14,000人弱、5,930世帯が暮らす緑園は、当初は、緑豊かで整備された街路や四季の径・公園また駅前などが輝いて見えていましたが、現在は特に駅周辺が荒れている状況となっています。この度、RCAの街づくりの一環として「緑園都市駅前の活性化」、「横浜市立緑園西小学校の後利用」のプロジェクトが発足し、関係組織等のご協力をいただきながら、RCAが主体的に街の課題解決を目指していく事になりました。その一端をになう「緑化推進委員会」が中心となり、駅前活性化プロジェクトと連携し、緑園都市駅周辺を「花と緑で整備」し地域の玄関口の活性化を図ることとなりました。

令和元年度よりプロジェクトチーム及び相鉄グループとの検討会を重ね、又、先進地区の見学等を実施し改善計画を作成し、協力していただく地域住民の公募を緑園地区町内で実施いたしました。その結果、協力者が集まり令和2年7月に「緑園花と緑の会」として発足会を実施し、活動がスタートしました。この会は従来より実施している春・秋の花の頒布会や花壇に維持管理・園芸用品の貸し出しを含めて活動いたします。当面は緑園都市周辺を相模鉄道の協力を得て改善を図り、今後は各種関連団体と協働し、又地域住民とともに活動範囲の拡大を図り、緑園全体が花と緑あふれる街になるよう皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



(2) 緑園花と緑の会の主要事業

- 花と緑で地域活性化に関する定例会
- 花苗の育成と駅前花壇の交換と整理
- 花壇の整備及び通路植栽整備の推進
- 花と緑に関する講演会・研修会の開催



☆☆☆ 横浜市「地域緑のまちづくり」に協賛 ☆☆☆

2020年度の横浜市「地域緑のまちづくり事業」に緑園4丁目を中心に発足した「緑園都市緑化推進クラブ」が「四季の径周辺緑化改善」をテーマに応募し、一次審査を通過しました。RCAもこの活動に協力しています。現在12月上旬の2次審査通過を目指し、具体的な植栽の改修方法などの検討を進めています。協力いただける方は右のQRコードの宛先にメールをお願いします。



☆☆☆☆ イベント情報 ☆☆☆☆

◆トークサロン（国際交流委員会）のお知らせ

RCA 国際交流委員会では、世界各国の方と住民との交流を目的にスピーカーを招き「トークサロン」を開催しております。今年度は3月より新型コロナウイルスの影響を避けて開催を休止して参りましたが、10月より再開することになりました。

参加ご希望の方は、予約不要です。スリッパをご持参、マスクを着用の上、直接ご来場下さい。当日、会場入口では、コロナ感染防止のため、検温・手首の消毒を実施し、窓を開放して開催します。感染の状況次第では直前の中止等も考えられますの、その際は何卒ご了承ください。

◇ 日 時： 10月24日（土）午後1時30分より緑園クラブハウス

◇ テーマ： 「ポーランド留学体験」

◇ スピーカー： 伊達由美香さん（緑園在住大学生）

ポーランド第3の都市ウッチにあるウッチ大学に留学した体験談をお話しいたします。

◆【花の頒布会開催のお知らせ】（緑化推進委員会） ※ 会員限定

“私達の街を緑と花のあふれる美しい街にしましょう”を合言葉に、恒例の「秋の花の頒布会」を下記のとおり開催致します。今回は、新型コロナウイルス感染防止策を実施して開催致しますので、三密防止・マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保等のご協力得て行います。場合により開催日の延期や中止などの変更が考えられます。その際は、チラシ案内、各丁目掲示板、ホームページ「緑園ネット」でお知らせいたしますのでご覧下さい。中止でも頒布券は捨てないでそのままお持ち下さい。尚、会場での感染防止策対応はRCA理事等が行いますのでご協力お願いします。

◇ 日 時： 10月24日（土）雨天決行 午前8時30分～10時30分

◇ 会 場： 緑園東小学校校庭

◇ 価 格： 1株70円（一世帯20株まで）20株を超える分は100円となります。

★花の頒布券（下）を切り取り、氏名住所・株数をご記入の上ご持参下さい。

★精算の際は、予め小銭をご用意頂き、三密防止にご協力下さい。

花の頒布券（2020年度 秋）



Ryokuen

住 所：緑園 丁目

氏 名： _____

購入株数： _____ 株